

又事態紛糾ノ場合ニハ工場閉鎖ヲモ辞セカル意嚮ヲ有シ、若シ解雇者ヲ出サハルニ於テハ、飽迄操業短縮ヲ断行スベシト認メラル  
 方及申報候也

労務第二二七二號

昭和五年七月十七日

警視總監 丸山 鶴吉

内務大臣 安達謙藏 殿  
 社會局長 官 殿

5. 7. 21  
 145

東京紙工株式會社勞働爭議ニ関スル件 (第三報—解決—)

要旨ハ解雇者四名ニ對スル手當支給其他所轄署長ノ斡旋ニヨリ田沼解決ニ  
 標記爭議ハ前報ノ通り田沼治伸介者トシテ七日會社側ト会見シ  
 タルニ嵐田專務ハ其ノ至當難ヲ總述シ全負解雇ニ已ムヲ得サル  
 旨發表シタルヨリ解雇者ハ四名ニ止ムルコトニシテ未手當金支  
 給ノ件ニ関シ數次交渉シタルカ十一日付別紙ハ要求書ヲ提出シ  
 タルヨリ工場主ハ十四日付ニテ全負解雇ヲ郵送シタルヲ以テ勞